



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 rakumo株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4060 URL <https://corporate.rakumo.com/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO兼COO（氏名）御手洗 大祐  
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO経営管理部長（氏名）石曾根 健太 TEL 050（1746）9891  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		調整後EBITA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	697	16.8	197	30.4	171	16.1	166	15.7	108	10.9
2023年12月期中間期	597	15.9	151	50.4	147	46.4	143	50.3	97	49.5

※調整後EBITA＝営業利益＋のれんの償却費（PPAIによる取得原価配分後の各種償却費を含む）

（注）包括利益 2024年12月期中間期 118百万円（9.0%） 2023年12月期中間期 108百万円（33.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	18.79	16.40
2023年12月期中間期	17.02	16.39

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,930	1,487	50.5
2023年12月期	2,670	1,365	50.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 1,480百万円 2023年12月期 1,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

2024年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出が困難であると判断したため、業績予想の記載は行っておりません。なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	5,783,500株	2023年12月期	5,773,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	111株	2023年12月期	111株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	5,778,300株	2023年12月期中間期	5,753,624株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年8月15日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、個人消費、輸出、設備投資等一部に足踏みがみられるものの、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られる等、緩やかに回復しました。先行きについては、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開するソフトウェア業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化、テレワーク、DX等に関連したシステムへの投資需要拡大が引き続き見込まれます。ポストコロナでの「新しい働き方」の定着として政府は、テレワークの環境整備や活用、デジタル人材の育成、DXの加速等を進めております。

このような状況の中、当社グループは、『仕事をラクに。オモシロく。』というビジョンのもと、『次のいつもの働き方へ。』をミッションに掲げ、オフィスの生産性向上に貢献すべく、企業向けグループウェア製品「rakumo」、社内SNS型日報アプリ「gamba!」、IR動画配信システム「SmartVision IR」等の機能強化及び更なる拡販に注力しました。

製品面では、「rakumo」におけるHR系新製品のローンチに向けた継続的な開発、新サービスの研究開発活動等、「gamba!」における生成AI関連の新機能リリース、「SmartVision IR」におけるコンソーシアム体制の構築によるサービスラインナップの拡充をはじめとした製品力の強化を行いました。

販売面では、業界セグメント特化型マーケティングにおける各種施策（Google Workspace（以下「GWS」という。）利用企業への能動的なアプローチ、自治体向けイベントへの出展、建設業向けの自社セミナーの開催等）を推進したことで、自治体や教育、医療、建設業等の新たな案件創出が順調に進捗しました。また、日本情報通信株式会社とのアライアンス強化、ポストセールス及びインサイドセールス担当の強化、Google社及び販売パートナーとの共催セミナーの開催等、下期の売上高増加に向けた各種施策にも取り組みました。

また、足元の為替相場における円安の著しい進行やインフレに伴い、サーバー費用や人件費を含む開発コスト、サービス提供費用等、各種費用の増加による事業環境の変化を受け、2024年4月1日より、一部rakumo製品の利用料金改定を行いました。

さらに、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品の活用を促すための能動的なオンボーディング施策、稼働率等を鑑みた更新クライアントへのフォローアップの実施等、お客様満足度の向上や解約率の低減にも努めました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高697,888千円（前年同期比16.8%増）、営業利益171,166千円（前年同期比16.1%増）、経常利益166,353千円（前年同期比15.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益108,574千円（前年同期比10.9%増）となりました。

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の経営成績は、以下の通りであります。

#### (SaaSサービス)

rakumo関連サービスにおいては、当中間連結会計期間末のクライアント数は2,468社（2023年12月末比26社増）、ユニークユーザー数は571千人（同8千人増）となった一方で、2024年3月末比ではクライアント数（2024年3月末比18社減）及びユニークユーザー数（同8千人減）が減少しております。これは、2024年3月における購入集中による新規顧客の反動減、契約更新の集中月における解約の増加（Googleの再販プログラム変更に伴うGWS利用顧客のパートナーへの移行、GWSからM365への利用転換等）等の一時的な事由によるものが多い状況となっております。また、当該現状に対する対応として、中大手案件増を目的としたBDR（Business Development Representative）担当の設置によるアウトバウンド営業の強化、既存顧客の課題をアクティブにサポートし、アップセルに繋げるアカウントマネジメントチームの営業部門での再設置、顧客のリテンションにつながるAI機能強化を推す新規・既存のGWS販売・アップセルのためのトレーニング受講、社内AIサービス利用の促進等の施策を行っております。

また、売上高の増加に向けて、業界セグメント特化型マーケティングにより教育機関、自治体、医療、建設業等の新たな案件の創出が順調に進捗しただけでなく、2024年4月1日より開始した一部rakumo製品の価格改定対応にも尽力することで、新規クライアントの獲得や、ユニークユーザー数及びユーザー1人当たり単価の増加に取り組みました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は665,665千円（前年同期比24.3%増）となりました。

（ソリューションサービス）

当サービスにおいては、SaaSサービスに関する導入支援案件等が好調に推移した一方で、SaaSサービスに注力する目的で既存顧客への業務支援案件の縮小を図ったことから、当中間連結会計期間の売上高は17,963千円（前年同期比17.9%減）となりました。

（ITオフショア開発サービス）

当サービスにおいては、SaaSサービスに注力する目的で縮小を図ったことから、当中間連結会計期間の売上高は14,260千円（前年同期比64.6%減）となりました。

## （2）当中間期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は2,930,932千円となり、前連結会計年度末に比べ260,514千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が282,843千円増加した一方、のれん及び顧客関連資産が26,306千円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は1,443,206千円となり、前連結会計年度末に比べ137,979千円増加いたしました。これは主に、契約負債が150,058千円増加した一方、未払法人税等が15,934千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,487,725千円となり、前連結会計年度末に比べ122,535千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益108,574千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末は50.9%）となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ282,792千円増加し、2,120,734千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動の結果得られた資金は、309,730千円（前年同期比8.7%増）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益166,353千円、契約負債の増加額157,868千円、減価償却費の計上33,189千円、法人税等の支払額60,108千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は、39,939千円（前年同期比15.3%増）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出32,662千円、投資有価証券の取得による支出5,000千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動の結果得られた資金は、4,096千円（前年同期比99.1%減）となりました。これは、株式の発行による収入4,096千円によるものであります。なお、前中間連結会計期間では、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入が495,052千円等があったことから、前年同期比で減少しております。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月1日に公表しました「rakumo 一部製品 料金改定のお知らせ」の通り、2024年4月1日より、一部rakumo製品の利用料金改定を実施しております。2024年12月期以降の連結業績にも一定程度の影響が見込まれますが、現時点において信頼性の高い業績予想数値を算出及び公表することが困難であることから、2024年12月期の連結業績予想につきましては開示しておりません。今後、信頼性の高い業績予想数値の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888,966	2,171,809
売掛金	49,899	40,343
仕掛品	329	572
貯蔵品	202	202
その他	46,419	54,814
流動資産合計	1,985,819	2,267,743
固定資産		
有形固定資産	22,319	21,499
無形固定資産		
のれん	290,049	271,790
顧客関連資産	201,163	193,116
ソフトウェア	71,722	70,991
ソフトウェア仮勘定	10,331	21,784
無形固定資産合計	573,266	557,683
投資その他の資産	76,847	73,785
固定資産合計	672,433	652,968
繰延資産	12,164	10,219
資産合計	2,670,417	2,930,932
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,902	44,659
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	65,361	49,427
契約負債	524,138	674,197
賞与引当金	4,143	6,073
その他	85,743	73,027
流動負債合計	733,289	857,384
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	500,000	500,000
資産除去債務	11,205	11,292
その他	60,731	74,530
固定負債合計	571,937	585,822
負債合計	1,305,227	1,443,206
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	392,469	394,517
資本剰余金	353,319	355,367
利益剰余金	591,243	699,817
自己株式	△169	△169
株主資本合計	1,336,863	1,449,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	△65
為替換算調整勘定	21,352	31,337
その他の包括利益累計額合計	21,407	31,271
新株予約権	6,919	6,919
純資産合計	1,365,189	1,487,725
負債純資産合計	2,670,417	2,930,932

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	597,646	697,888
売上原価	213,073	247,038
売上総利益	384,573	450,850
販売費及び一般管理費	237,153	279,683
営業利益	147,419	171,166
営業外収益		
受取利息	23	33
その他	31	47
営業外収益合計	55	80
営業外費用		
支払利息	104	57
為替差損	2,351	1,990
新株予約権発行費償却	387	1,172
その他	904	1,673
営業外費用合計	3,747	4,894
経常利益	143,727	166,353
税金等調整前中間純利益	143,727	166,353
法人税、住民税及び事業税	37,350	44,499
法人税等調整額	8,438	13,279
法人税等合計	45,788	57,778
中間純利益	97,939	108,574
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	97,939	108,574

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	97,939	108,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△120
為替換算調整勘定	10,852	9,985
その他の包括利益合計	10,725	9,864
中間包括利益	108,664	118,438
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	108,664	118,438
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	143,727	166,353
減価償却費	20,662	33,189
のれん償却額	4,037	18,259
受取利息及び受取配当金	△23	△33
支払利息	104	57
売上債権の増減額(△は増加)	9,829	10,362
棚卸資産の増減額(△は増加)	108	△225
仕入債務の増減額(△は減少)	4,906	739
繰延資産償却額	643	1,944
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,047	1,861
投資事業組合運用損益(△は益)	647	701
契約負債の増減額(△は減少)	140,008	157,868
前渡金の増減額(△は増加)	4	—
前払費用の増減額(△は増加)	△8,312	△9,126
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,077	△612
未収入金の増減額(△は増加)	1,879	1,932
未払金の増減額(△は減少)	△2,754	△3,169
未払費用の増減額(△は減少)	△4,353	△6,923
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,513	△528
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△23	△238
預り金の増減額(△は減少)	△3,730	△2,578
差入保証金の増減額(△は増加)	909	—
その他の損益(△は益)	55	28
<b>小計</b>	<b>303,783</b>	<b>369,864</b>
利息及び配当金の受取額	23	33
利息の支払額	△202	△58
法人税等の支払額	△18,705	△60,108
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>284,899</b>	<b>309,730</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,032	△2,276
投資有価証券の取得による支出	△5,000	△5,000
無形固定資産の取得による支出	△25,669	△32,662
資産除去債務の履行による支出	△1,946	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△34,648</b>	<b>△39,939</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△40,000	—
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	495,052	—
株式の発行による収入	2,192	4,096
新株予約権の発行による収入	5,090	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>462,335</b>	<b>4,096</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,859	8,904
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>722,445</b>	<b>282,792</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,384,056	1,837,942
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>2,106,502</b>	<b>2,120,734</b>

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。